陳情第 5 号

「森友」「加計」疑惑の真相究明を求める意見書の提出を求める陳情

1 受理年月日 平成30年4月24日

2 陳情者 立川市柏町2-48-21
柿田 芳和

3 陳情の要旨

「森友」「加計」疑惑の真相究明を求める意見書を、市議会として政府及び国会に対して提出してください。

4 陳情の理由

国民の財産である国有地を土地鑑定価格よりも8億2千万円も格安で払い下げた「森友」疑惑では、国会へ提出された公文書である決裁文書が財務省によって改ざん・削除されていた事実が明らかになっています。

加計学園の獣医学部新設では、国と自治体から巨額の補助金が支出されており、文部科学省が内閣府と打ち合わせたとされる文書には、「総理のご意向」「官邸の最高レベルが言っている」など文言が盛り込まれ、やり取りの直後に、文部科学省が「1校に限り」設置を認める方針を打ち出しています。今回明らかになった愛媛県の面談記録では、柳瀬首相秘書官(当時)が「本件は、首相案件」「国家戦略特区の方が勢いがある」などと発言したとの記述があり、同様のメールが農林水産省や文部科学省にも存在することが明らかになっています。

「森友」「加計」疑惑は、国民の政治に対する不信感を作り出すものとなっています。疑惑の究明は国民主権と日本の民主主義が問われている問題です。「森友」疑惑では、元理財局長の佐川宣寿氏の証人喚問が行われましたが、核心部分になると「刑事訴追の怖れ」を理由に証言を拒否する一方で、「首相夫妻や官邸からの指示はなかった」との答弁がされ、益々疑惑が深まっています。

こうした疑惑を解明するためには、安倍首相夫人や柳瀬元秘書官、加計幸太郎理事長などの関係者の証人喚問を行うことが急務と考えます。